

福岡県町村監査委員協議会総会研修会

7月5日、福岡県自治会館において町村監査委員総会・研修会が開催され川村代表監査委員、中島和正監査委員、監査事務局長の3名が出席しました。

総会において、平成24年度の会務報告から平成24年度監査委員協議会歳入歳出決算が審議され全会一致で承認されました。

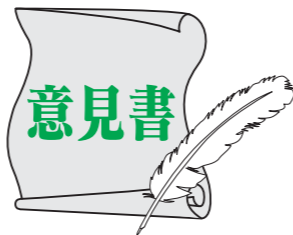
また、川村代表監査委員におかれては福岡県監査委員協議会副会長に引き続き再任されました。

その後の監査委員研修会では、講師に九州大学の田中孝男氏を迎えて「住民監査請求制度について」と題し、住民監査請求の運用実態、留意点と課題を提示して具体的な手法にわたり詳細な説明を受けました。参加した私たちも現在の監査のあり方も含め、十分参考になる有意義な研修会でした。



副会長就任のあいさつ

より豊かな保育・教育制度の拡充と子育て支援制度を求める意見書



1. 子どものよりよい保育環境をつくるため、制度実施責任者である市町村における十分な論議を保障し、「施行」ばかりを拙速に進めないこと。
2. 子どもが保育・教育を受ける全ての場(施設・事業)において、子どもの取扱いに格差を生じさせることなく、市町村の保育実施責任と子どもの権利を明記し、政省令に反映させること。
3. 保育時間(「認定」時間)については、子どもの生活および教育保障の観点から、子どもの立場に立ち、子どもの生活を見通した適切な保育時間を保障すべきこと。
4. 保育施設基準は、子どもが受けるすべての保育施設・事業において現行制度より引き下げないこと。
5. 幼保連携型認定こども園と保育所、小規模保育所など、施設・事業ごとの公定価格(保育単価)に差異をもうけないこと。
6. 保護者の負担軽減をはかること。
7. 職員の処遇改善をはかり、安定した雇用身分を保障するしくみをつくること。
8. 施設整備費補助について、施設の建て替え、耐震対策に対応するため恒常化すること。
9. 保育に支出される公的資金は、保育の質と量を維持拡大するためのものであることを明確にすること。
10. 保育制度改革にあたっては、保護者、保育現場の意見を尊重し、拙速な実施は避けること。

提出議員 中島 和正
賛成議員 徳永 豊
牟田口 美智子
井上 護
山北 清四郎
小島 裕司



元気に体操する大莞保育園児

6月議会にて意見書を採択し、内閣総理大臣をはじめ、各関係機関に送付しました。

常任委員会のメンバーが変わりました

文教厚生常任委員会委員長が徳永豊議員に変わりました。

総務建設産業常任委員会

文教厚生常任委員会

所管する課局

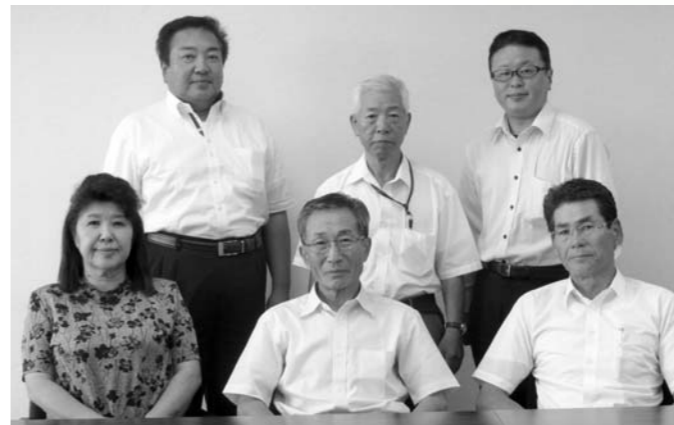
総務課、企画課、会計課、税務町民課、産業振興課、建設水道課、議会事務局、農業委員会



中島 宗昭 委員
副委員長 古賀 泰弘
委員 近藤 純久
委員 松枝 友久
委員 松枝 治幸
委員 中島 征行

所管する課局

こども未来課、健康課、福祉課、環境課、学校教育課、生涯学習課



中島 和正 委員
副委員長 山北 清四郎
委員 井上 護
委員 徳永 豊
委員 小島 裕司
委員 牟田口 美智子

福岡県町村議会 議長会会長に就任

去る6月5日の福岡県町村議会議長会の臨時総会において、大木町議会議長 中ノ森慎一氏が全会一致の上、県町村議会議長会会長に就任されました。

福岡県町村議会議長会臨時総会

